



いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りを持ち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第25号
R6.9.25
文責：東海林

教科等訪問

9月19日（木）は、教育庁中央教育事務所指導主事久米美樹様、中央教育事務所由利出張所指導主事齊藤智行様、をお迎えし、教科等訪問が行われました。2校時目に1年・6年を除く学級の授業を参観していただき、特定授業として、3校時目に1年1組の算数、4校時目に6年1組の体育科の授業を参観していただきました。

1年生の算数科は、「たしざんめいじんになろう『2ひきのりすのたしざんクッキング』」の学習でした。1年生は、 $8 + 3$ の計算の仕方をブロックや図、言葉に関連付けながら考え、10のまとまりをつくるよさを実感しながら計算することができました。先生の話をしっかり聞き、課題解決に向かって一生懸命に考える様子は、立派な1年生の姿でした。4月からの大きな成長を感じてうれしくなりました。

6年生の体育科では、「動きを合わせて、グループで表現しよう『私たちのシンクロ発表会（マット運動）』」の学習でした。6年生は、シンクロ発表会に向けて、側方倒立回転やロンダートをよりダイナミックに美しく表現するために動きを工夫しながら運動することができました。友達とアドバイスをし合いながら自分の動きを高めようとする姿には、さすが6年生、頼もしさを感じてうれしくなりました。

1年生 算数科「たしざんめいじんになろう」



6年生 体育科「動きを合わせて、グループで表現しよう」



本校が目指す資質・能力の一つである「進んで学びに向かい、学ぶことを楽しむ」力が確実に身に付きつつあると実感しました。今後も子どもたちの資質・能力を高める授業を日々追究していきたいと思っています。



いわきっこのがんばり



○第52回科学作品展

優秀賞	6年	進藤	**	「カタツムリのふ化」
優良賞	1年	渡部	**	「こおりのじっけん」
優良賞	3年	山田	**	「わたしの体の中のしくみ」

保護者アンケートの結果について

年に2回（夏休み前・冬休み前）計画しているアンケートですが、保護者の皆様が学校の教育活動・取組や子ども達の姿をどのように感じているのかを教えてください、後期から取り入れられること、来年度に活かすことと判断し、学校経営に反映させていただきます。

今号はアンケートの質問番号（4・3・2・1）で答えていただいた部分について学校全体の平均値を紹介し、結果を受けて学校としての考えをまとめました。

『岩城』のすてきや「子ども達に学んでほしいこと」の部分は参考にし、教育計画に取り入れるようにしています。記述からは、保護者の方が、岩城地域のよさをしっかり受け止め、これからも子どもたちに受け継いでいってほしい・大切にしていってほしいという願いを感じ取ることができました。岩城小学校では、低学年は生活科、中学年以上は総合的な学習の時間を核として、カリキュラム・マネジメント（児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校教育活動の質の向上を図っていくこと）に取り組んでいます。今後も、子どもたちが将来自立し、地域社会に貢献できる人材になることを願い、「ふるさとに誇りをもち、たくましく生き抜く子どもの育成」を目指した教育活動を進めていきます。

自由記述では、たくさんの方から、我々教職員の意欲向上につながるようなご意見をいただきました。学校と家庭とが同じ方向で子どもたちを育てていくことの大切さを改めて感じました。いつも温かく見守り、協力してくださる保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。あいさつや言葉遣い、PTAのもち方等については、今後検討し、改善を図っていきたいと考えています。アンケートをお願いした時期がちょうど旧藩祭の時期でしたので、旧藩祭についてもありがたいご感想をいただきました。昨年度の経験を踏まえて、今年度改善したことへの評価はいただけたと思います。皆様のおかげで、子ども達はとても輝き、達成感・充実感につながりました。市役所の皆様、実行委員会の皆様、多くの団体やボランティア等の皆様の支えもあってこそこの行事でした。子ども達の笑顔、そして応援してくださる地域の皆様の笑顔は忘れられません。ご協力ありがとうございました。いただいたご意見も参考にしながら課題を振り返り、来年度以降の実施の在り方に繋げていくことにしています。

アンケートを通して学校を応援してくださるご意見を寄せていただき、ありがとうございました。なお、個人や学年に関わるものについては校内で共有させていただくことにしました。

※皆様からいただいた自由記述は、次号にてお知らせいたします。